

《平成 27 年度 千葉市発達障害等に関する巡回相談事業報告》

【目的】

市内の保育所(園)及び幼稚園において、発達障害等が疑われる児童を早期に発見のうえ、適切な支援機関につなげることを目的に実施する。

【内容】

保育所(園)及び幼稚園を利用している児童の保護者、施設職員からの発達障害に関する相談のほか、児童の発達上の課題などの悩みに対応する。

対象児童の普段の様子や心配している点などをまとめた資料を保護者・施設職員にそれぞれ記入してもらい、当日の観察結果と併せて検討する。その結果、より詳しい相談が必要と相談員が判断した方には、専門の相談機関の利用を勧める。

【対象】

市内の保育所(園)、幼稚園及び認定子ども園に通う年中児を対象とする。また、原則として保護者の同意を得るものとする。

【当日の流れ】

巡回相談員の訪問時間は、当該施設の開園時間内とし、調整のうえ、決定する。基本的な流れは以下の通りである。

9:30	観察開始
12:00	観察終了
	巡回相談員休憩・打ち合わせ
13:30	個別相談
16:00	終了予定

【実施結果】

	施設数	対象 児童数	障害児数	機関等 紹介児数※
保育所	14(美浜 4、稲毛 5、中央 2、花見川 2、若葉 1)	32	8	18
保育園	1(緑 1)	1	0	0
幼稚園	4(美浜 1、稲毛 1、中央 1、緑 1)	7	1	5
合計	19(美浜 5、稲毛 6、中央 3、 花見川 2、若葉 1、緑 2)	40	9	23

※相談継続中・支援機関予約済みの児童は含まない

【考察】

巡回相談では、対象児童の保護者や所属施設職員に対して、障害のある、または障害の疑われる児童への関わり方や環境調整の方法等の助言、医療機関や支援機関の紹介等を行った。

対象児童全体の約 25%に診断(精神発達遅滞、自閉症スペクトラム等)が出ており、中には支援機関を利用して継続的に療育を受けている方もいた。保護者としては「いろいろな視点からの意見が欲しい」「集団生活を見てもらいたい」といった希望による申し込みであったと考えられるが、本事業の「発達障害等が疑われる児童を早期に発見のうえ、適切な支援機関につなげる」という主旨からはずれてしまっていた。

しかしながら、子育てに悩む保護者にとって、日常の保育場面の観察をできることや、園(所)で相談ができる利用のしやすさは、巡回相談事業のメリットであると考えられる。

施設職員からは「施設側が気になっている児童に関して、保護者からの同意が得られないので申し込みができない」という意見が多数寄せられた。また、「年中以外の学年も対象にして欲しい」「経過観察をして欲しい」という意見もあった。